

早稲田大学大学院日本語教育研究科 緊急企画

外国人労働者受入れと日本語教育 —転換点を迎える移民言語教育政策とは—

2019年3月16日（土） 9:30～11:30

会場：早稲田大学22号館201号室（早稲田キャンパス）

<https://www.waseda.jp/top/access/waseda-campus>

* 参加事前登録不要、直接会場にお越しください。【開場：9:00】

参加費
無料

★木村義雄（参議院議員・元厚生労働副大臣）パネリスト
「日本語教育と参入障壁」



★川上郁雄（早稲田大学日本語教育研究科）パネリスト
「子どもの日本語教育は、新在留資格創設により変化するのか」

★宮崎里司（早稲田大学日本語教育研究科）パネリスト兼ファシリ
テーター

「日本語教育支援が届きにくいアウトリーチ型外国人就労者のための
セーフティネットとは」

2018年末、「改正出入国管理及び難民認定」が成立・公布されたが、外国人就労者に対する資質や能力に関する日本語教育の対策は、セーフティネットの充実の観点から急務となってきている。本企画では、外国人就労者の政策に精通する国会議員、外国人人材や技能実習生に対する日本語教育の実践研究者、ならびに、外国人就労者が帯同する家族、とりわけ児童生徒に対する日本語教育政策の研究者が、持続可能な移民政策について、現状の課題と対応策について発信する。

お問合せ

早稲田大学大学院日本語教育研究科

TEL: 03-5286-2750

Mail: gsjal@list.waseda.jp